NIE実践報告

1．タイトル：☆主体的に健康つくりに取り組む窪田っ子の育成

2．学校名

愛媛県松山市立窪田小学校

3．実践者名（代表者名）

菅野史章

4．学年

第5学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

学級活動（歯と口の健康指導）　33人

6．単元（本時の学習課題）名

「あなたの歯肉は大丈夫？」

7．目標(狙い)

○歯肉炎の原因や進み方を知り、口の中の健康に対する関心を高め、予防方法について考える。
○自分の生活を振り返り、歯と歯肉を健康に保つための目標を設定し、生活に生かすようにする。

8．評価の視点

○歯肉炎の原因や進み方を知り、口の中の健康に対する関心を高めているか。
○歯肉炎の予防方法について考えているか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

○歯肉炎の原因を知り、その予防方法について話し合う。1時間（本時）
○自分の生活を振り返り、歯と歯肉を健康に保つための目標設定をする。1時間　　合計2時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①健康な歯肉と歯肉炎の違いを知る。
②自分の歯肉を観察する。
③歯肉炎になる理由を知る。
④「歯肉炎を予防する方法」についてブレインストーミングを行う。
（留意点）
・本時までに新聞などを利用して、歯や歯肉・健康等について興味関心を高めておく。
・歯肉の観察場所は、歯と歯の間が重要であることを確認する。
・学習シートに自分の歯肉の観察結果を記入させ、気付いたことを発表させる。
・歯肉炎になる理由を知らせるとともに、歯肉炎になるとどんな弊害があるかを知らせ、生涯に渡り健康な歯を維持するためには、むし歯を防ぐことと同じくらい歯肉炎を予防することが大切であることを確認する。
・本題材終了後、達成した目標について話し合い、達成できなかったことについて、手段を考えさせる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

○本時までに取り組んでいた新聞の活用は、子どもたちに健康に対する興味をもたせることにとても役立った。準備していた新聞だけではなく、他社の新聞やパンフレットなど他の情報源を利用する子どもも現れてきて関心の高まりを実感できた。

12．成果と課題

○今回、歯肉炎の原因や進み方を詳しく学習することで、口の中の健康に対する関心を高めることができた。
○教室内に新聞掲示用のコーナーを設置したり、学年スペースに新聞閲覧用のコーナーを設け、常時閲覧できるようにしたりすることで、新聞をより身近な存在としての情報源とすることができた。
○今回、口歯の健康についてもっと新聞から情報を得たかったが、毎日の記事にはそれが存在しない日もあり、やむを得ず調べるテーマを「口歯に関するもの」から「健康に関するもの」へと、範囲を広げざるを得なかったのは気になる所であったが、そのことが他の資料への興味付けにもつながった。